

進んだ
施策を

学んで生かすべ!! 視察研修レポート



文教厚生常任委員会
きたなかぐすくそん
 11月14日 沖縄県北中城村
ちやたんちよう
 11月15日 沖縄県北谷町



総務産業建設常任委員会
つばた
 10月25日 石川県津幡町
ふなはし
 10月26日 富山県舟橋村



食育S.A.Tシステムを体験

健康長寿で村を活性化
 北中城村は、平成22年の女性の平均寿命が89・0歳と2期連続全国1位の村です。しかし、65歳未満の死亡率は全国平均より高い状況です。そこで、糖尿病等生活習慣病やそれらの重症化、合併症にならないために、食育S.A.Tシステムを活用し、企業やコンビニなどに、食育S.A.Tシステムを積極的に活用し、働く世代にも健康教育を実施しています。また、他の課や企業と連携した行事も開催し、健康づくりの取り組みを多方面へ展開・連携することで、

平均寿命日本一の継続↓薬しみや生きがいの増加↓医療や福祉関係費の健全化↓地域コミュニティの活性化↓産業観光振興↓村の税収増に繋げようとしています。村の長所と短所を結びつけた全庁的な取り組みは大変参考になりました。本村でも、多方面と連携した健康づくりの取り組みを望みます。

※フードモデル（模型）を選んだのせいで、瞬時に栄養価などを計算し、「食事バランスガイド」などを表示してくれるシステムです。

沖縄県北中城村



大河ドラマ誘致の話に聞き入る

産業振興・観光振興を学ぶ
 津幡町では、平成27年4月に設けた津幡町産業振興計画に基づき、同町の特性や課題に対し、移転企業に対する優遇、助成措置、国際見本市等への出店事業費助成、雇用に関する奨励金、新分野進出・新製品開発支援、設備投資に対する助成など産業振興に取り組み、既存事業所の活性化や移転企業などの進出に努めているとのことでした。

また、観光振興は、源平合戦の「倶利伽羅峠の戦い」の舞台となった倶利伽羅峠が同町にあることから、平成21年に「津幡町大河ドラマ誘致推進協議会」と「津幡町大河ドラマ誘致推進実行委員会」を設けて、様々な誘致活動を展開してまいりました。

本村では、産業振興計画は策定していませんが、既存事業所の活性化や企業の発展のための支援など、検討をする必要があると思います。

石川県津幡町

**予算編成に向けて
提言書を提出**
 文教厚生常任委員会は、12月9日、4年間の視察研修をまとめ「教育、子育て、健康・長寿、環境衛生」分野の7事項21項目の提言書を村長及び教育長に提出しました。



ゴミ減量化に対する職員の熱意を聞く

ゴミ減量化大作戦の町
 北谷町は、平成25年に10年間の計画目標を定めた「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、ゴミの減量化に取り組んでいます。面積が13・93kmと小さく、約53%が米軍関連用地のため、住宅地が密集していることから、毎戸にゴミを収集していき、分別ができていないゴミには回収できないシールが張られ、誰が出したゴミか分かるため、住民の意識が高いようです。さらに、クリーン指導員によるゴミ出し指導や不法投棄防止のための見守りも実施されています。

ゴミの減量化とリサイクル率向上は村の財政にも影響していることから、本村でも計画策定や資源ゴミ回収の見直しなど、今以上の取り組みが必要です。

沖縄県北谷町



30名の職員で奮闘

人口増加対策
 舟橋村は、富山市のベッタウンとして生き残るよう、人口増加対策に力を入れています。その契機は年間出生数が1桁となった危機感から、市街化調整区域の除外という英断を経て、現在に至る25年の間に村営133区画、民営421区画を宅地造成し人口増を果たしました。

産業振興では、稲作を中心とした農業を基幹産業とし、農事組合法人を通じた舟橋米の販路確立及び地元造り酒屋による舟橋米を使った日本酒づくりと都市部への販路拡大などが特徴でした。また、少人数の職員での事業展開など、学ぶところが多くありました。

富山県舟橋村

群馬県町村議会議員研修会

10月28日 吉岡町文化センター



山村 武彦氏



手嶋 龍一氏

群馬県内の町村議会議員を対象に、吉岡町文化センターで議員研修会が開催されました。

講演Ⅰ
防災システム研究所 所長の山村武彦氏による『自助・近助・共助でつくる 災害に強いまちづくり』をテーマとした講演でした。山村先生は国内外の災害現地調査体験をもとに、多くの著書発行やテレビ出演もしている防災のアドバイザーです。予防訓練の必要性、安全ゾーンの設置・広域でのハザードマップ

講演Ⅱ
外交ジャーナリスト・作家の手嶋龍一氏による『動乱の21世紀を読み解く 中国の台頭と日米同盟』の講演でした。日頃のテレビなどでの情報では知り得ない、米国の大統領選挙の裏話やロシア、北朝鮮、中国と日本の関わりについて、自身が携わっている仕事を通じての情報を交えながら、笑いありのわかりやすい講演でした。

プロフェッショナルから学ぶ

北群馬郡町村議会議長会議員研修会

11月24日 吉岡町役場



横田 優氏



熱心に学ぶ榛東・吉岡の議員

講師に横田優氏（全北群馬郡町村議会議長会・議事調査部参与）を招き、『議会運営の基本』について講演していただきました。内容は、①地方自治の仕組み②議会が持っている権限③会議の諸原則④本会議の運営と広範囲でしたが、住民のみならず、直接的に関係することとは、住民の選挙権（11条）・条例の制定改

講師に横田優氏（全北群馬郡町村議会議長会・議事調査部参与）を招き、『議会運営の基本』について講演していただきました。内容は、①地方自治の仕組み②議会が持っている権限③会議の諸原則④本会議の運営と広範囲でしたが、住民のみならず、直接的に関係することとは、住民の選挙権（11条）・条例の制定改

議会運営を学ぶ

県外から榛東村へ視察に訪れました

と き	10月27日（木）
訪れた町村	東京都町村議会議長会
研修内容	・榛東村のむらづくり計画 ・榛東村の議会運営



基地対策・幹線道路特別委員会

11月25日 長野県池田町



長野県池田町



安曇野アートライン事務局長との懇談

安曇野アートラインは、北アルプスの麓に広がる安曇野に点在する19個の美術館・博物館を結び、安曇野市から白馬村までの約50kmのラインをさします。JR大糸線が地域内を縦断し、地域の南端にある長野自動車道安曇野インターからアクセスも良く、国道19号も安曇野市を交差して

います。美術館・博物館の誘客には、鉄道・道路の利便性が求められますが、地域内の既設の県道が施設を結んでいると思いましたが、国道・鉄道も走っていない榛東村にとって観光客誘致を図るには、駒寄インターからの延伸道路を早期に開通させる必要性を痛感しました。

長野県池田町 安曇野アートラインで観光客誘致

議会広報特別委員会

11月22日 群馬県市町村会館



芳野 政明氏



11月22日に群馬県市町村会館において議会広報研修会が開催されました。

講師には、編集・出版アドバイザーの芳野政明氏を迎え、講義が行われました。

午前中は、「住民に読まれ、議会の活動が伝わる広報誌づくり」について学び、午

後には、3町村の議会広報誌がクリニックを受け、問題点の指摘や改善点を学びました。「しんとうむら議会だより」もクリニックによりもクリニックに応募し審査を受けました。目的に沿った企画・編集になっっているか、読みやすさ、わかりやすさ、また、写真の撮り方や使い方など様々な角度から良い点や改善点を指摘していただき、広報委員として非常に有意義な研修となりました。今後この研修の成果を生かし、読みやすく、議会の活動が伝わる「議会だより」づくりに努力していきます。

読みやすい・伝わる 広報を目指して

クリニックでは高評価だが改善点も…

